



野家 成くん
(迫町新町・聡さん)



伊藤 圭汰くん
(迫町板橋・晴喜さん)



千葉 風花ちゃん
(迫町泥内・直幸さん)



千葉 陽生くん
(迫町舟橋・敏郎さん)



鎌田 桜子ちゃん
(迫町下舟丁・浩史さん)



阿部 詳くん
(迫町駒木・康さん)



佐々木康平くん
(迫町茂栗・進さん)



阿部 未来ちゃん
(迫町八幡・隆則さん)

3月25日までの
3歳児健診(3歳
6カ月~7カ月児)で
むし歯がなかった子は、
市内4地区で
36人中20人でした



三浦向日葵ちゃん
(迫町下舟丁・剛さん)



加藤つばさちゃん
(迫町鉄砲丁・宏さん)



大田 菜央ちゃん
(迫町一市・信幸さん)



岩淵 未来ちゃん
(迫町三方島・和彦さん)



佐藤 遥菜ちゃん
(豊里町大曲・博昭さん)



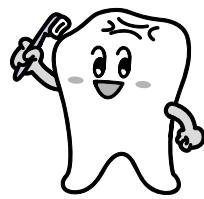
金沢 陽翔くん
(豊里町新町・正則さん)



佐々木綺琉ちゃん
(豊里町大曲・恵美さん)



佐竹 恵人くん
(迫町品ノ浦・亮一さん)



※()内には申し出が
あった保護者の名前を掲
載しています。



西城 咲希ちゃん
(津山町横山8区・泰憲さん)



水野 康助くん
(登米町三日町・徳行さん)



鈴木 彩白ちゃん
(登米町後舟橋・良彦さん)



佐々木日和ちゃん
(豊里町竹花・教一郎さん)

医療連携と体制づくり懇談会

登米病院の無床診療所化に伴い、4月からの診療体制や受付時間、休日・夜間など急に発病した場合の対応などについて説明する懇談会が3月18日、市役所登米庁舎で開催されました。

また、市民生活部健康推進課からは、かかりつけ医の必要性や診療所、病院の役割についての説明が行われました。

お寄せいただいた意見

○救急の問い合わせ窓口一本化を

登米町域の皆さんは、今まで急病のときに登米病院へ連絡して対応を判断していました。しかし、診療所になることでその窓口が無くなることから、不安であるとの声がありました。さらに、今後の問い合わせ窓口として、救急告示病院それぞれに窓口を置くのではなく、相談や症状を聞いてどの病院へ行ったらいいか調整をする一次窓口的な機能を一本化してほしいという意見が出されました。

○独居老人など高齢者の移動手段の確保を

登米町域では独居老人世帯が、198世帯となっています。高齢者人口も30%を超えています。そうしたことから、高齢者が市内医療機関だけでなく、県立循環器・呼吸器病センターや大崎市民病院などといった医療機関に通院することとなった場合の移動手段について、対応を考えてほしいという意見が出されました。

○地域での啓発・周知の徹底を

今回、登米病院が診療所となり入院機能が無くなることから、休日・夜間の診療や救急対応の説明をしました。そうしたところ地域での啓発・周知を徹底すべきであるという意見が出されました。

最後に登米病院長から市長に対し、登米町域の将来展望として「地域住民のより良い暮らしのために、診療所・老人保健施設・保育所などの整備を一体的に考え対応してもらいたい」との要望がありました。

市長は、今後各地域において「病院の問題だけではなく、健康づくりやまちづくりに関することなどの懇談会を開催して、市民の意見を聞く機会を増やしていきたい」と話しました。

【問い合わせ】

医療局経営改革推進室 ☎ 0220 (21) 5030

公共施設の木造化・内装木質化を進めます

市では、林業、木材産業および住宅産業など地域産業の振興の一環として「登米市公共施設木造化・木質化指針」を策定し、4月から実施しています。

登米市は、東北でも有数のスギをはじめとした木材の生産地です。

市で発注する公共施設や公共事業において、強度面やコスト面を検討の上、木造化または内装の木質化に努め、地域で生産された木材(地域産材)を可能な限り、使用していきます。

指針の概要

- ①市が新築、増築、改築または修繕する施設については、建築基準法などの関係法令の範囲内で、強度面、コスト面を勘案し、可能な限り木造化を進めます。
- ②非木造施設については、施設の用途、規模に応じて可能な限り内装木質化を進めます。
- ③木造化および内装木質化にすべき施設については、原則として地域産材を使用します。

※登米市公共施設木造化・木質化指針の本文については、市ホームページに掲載しています。



◀地域産材を使用した新津山総合支所

【問い合わせ】

産業経済部農林政策課 林業振興係
☎ 0220 (34) 2716